

臨床研究「血行再建が不適應または不応答であった難治性潰瘍・壊疽を有する包括的高度慢性下肢虚血患者に対する血液浄化療法レオカーナの安全性と有効性に関する多施設・前向き研究」 についてのお知らせ

※この研究は、小倉記念病院に設置された臨床研究審査委員会で審査を受け、当院の長の承認のうえで実施しています。

1. 研究の対象

血行再建が不適應または不応答であった難治性潰瘍・壊疽を有する包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）患者に対して、補助療法としての血液浄化療法（レオカーナ）を実施した方のうち、以下の「選択基準」を全て満たし、「除外基準」をいずれも満たさない方。

＜選定基準＞

- 1) 20 歳以上である患者さん
- 2) アテローム性動脈硬化症、末梢動脈疾患で潰瘍・壊疽を有する患者さん
- 3) 安静時の足関節上腕血圧比（ABI）が 0.9 未満である。または ABI が 0.9 以上である場合には他の検査にて虚血が確認された患者さん
- 4) 血行再建術が実施できない（不適應）もしくは実施しても術が不成功や再狭窄等で病変が改善しない（不応答）であると判断され、レオカーナを施行した患者さん

＜除外基準＞

- 1) 急性動脈閉塞や明らかな血栓性病変を有する患者さん
- 2) 血行再建・下肢大切断術が予定されている患者さん
- 3) バイパス術後の吻合部病変を有する患者さん
- 4) 余命 1 年未満の全身状態を有すると判断される患者さん

2. 研究目的・方法

本研究の目的は、血行再建が不適應もしくは実施しても不成功や再狭窄等不応答の CLTI 患者さんに対し、補助療法としての血液浄化療法（レオカーナ）の実臨床における 12 ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を前向きに探索することです。

上記「研究の対象」で示した患者さんを対象に、通常医療行為の中で取得された診療情報を収集し、分析を行います。抽出したデータを用いて、レオカーナ使用時の治療成績を明らかにします。また、治療成績とさまざまな背景データ、治療内容、検査結果などとの関連を統計学的に分析します。

研究の実施期間は当院の長の承認を受けてから 2032 年 2 月末日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、かかっている病気、服薬・治療内容、診察情報（身長、体重、血圧など）、血液検査、生理検査（ABI、皮膚灌流圧など）、画像検査（超音波検査・血管造影検査など）、治療合併症、治療後の経過等の情報を収集します。尚、本研究では試料は扱いません。

4. 外部への試料・情報の提供

収集した情報を取り扱う際、各施設において個人が特定できないようにコードを付与します（匿名化と言います）。コードと患者さんを紐づける対応表は各施設で厳重に管理し、外部に知られることはないように致します。本研究は多機関共同研究であり、各施設で収集され匿名化されたデータは電子媒体で、データセンター・統計解析担当部門である大阪大学へ送付されます。尚、本研究では試料は扱いません。

5. 研究を実施する共同研究機関

研究代表者：一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 循環器内科 部長 曾我 芳光

この研究に参加する研究機関

研究機関	診療科／部局	研究責任者名
カレス記念病院	循環器内科	丹 通直
市立札幌病院	循環器内科	鈴木 理穂
仙台厚生病院	循環器内科	堀江 和紀
坂総合病院	循環器科	佐々木伸也
総合病院国保旭中央病院	循環器内科	早川 直樹
東京ベイ・浦安市川医療センター	循環器内科	仲間 達也
順天堂大学医学部附属浦安病院	循環器内科	尾崎 大
春日部中央総合病院	循環器内科	金子 喜仁
獨協医科大学病院	心臓血管内科/循環器内科	佐久間 理吏
筑波メディカルセンター病院	循環器内科	相原 英明
湘南鎌倉総合病院	循環器内科	飛田 一樹
大和成和病院	循環器内科	土井尻 達紀
済生会横浜市東部病院	循環器内科	毛利 晋輔
東京都済生会中央病院	循環器内科	鈴木健之
国際医療福祉大学病院	血管外科	墨 誠
十全記念病院	血管外科	野村 拓生
成田記念病院	循環器内科	佐竹 晃徳
一宮西病院	循環器内科	市橋 敬
大垣市民病院	循環器内科	吉岡 直輝
松波総合病院	循環器内科	近藤 裕樹

洛和会音羽病院	循環器内科	柳内 隆
京都第一赤十字病院	循環器内科	加藤 拓
京都第二赤十字病院	循環器内科	小出 正洋
大阪大学大学院医学系研究科	病院臨床検査学講座	高原 充佳
大阪警察病院	循環器内科	飯田 修
森之宮病院	循環器内科	川崎 大三
大阪府済生会中津病院	循環器内科	上月 周
野崎徳洲会病院	循環器内科	藤原 昌彦
大阪赤十字病院	循環器内科	小林 洋平
徳島赤十字病院	循環器内科	弓場 健一郎
高松赤十字病院	循環器内科	多田 典弘
松山赤十字病院	血管外科	山岡 輝年
済生会福岡総合病院	循環器内科	末松 延裕
福岡大学病院	循環器内科	杉原 充
小倉記念病院	循環器内科	角田 一生
大分岡病院	循環器内科	直野 茂
天陽会中央病院	循環器内科	竹井達郎
宮崎市郡医師会病院	循環器内科	緒方 健二
中部徳洲会病院	循環器内科	小畑 慎也

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、当該研究について患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

<当院の研究責任者>

循環器内科 堀江 和紀

<この研究の研究代表者>

一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院 循環器内科 部長 曾我 芳光

〒802-8555 福岡県北九州市小倉北区浅野 3 丁目 2-1

電話：093-511-2000（代表）

（2025 年 6 月 2 日作成）